

## 令和3年度ひばり療護園事業実施報告書

### ●基本理念

- ① ノーマライゼーション理念のもと、たとえ障害があっても一人の人間としてその人らしく尊厳を持って生きることを支援します。
- ② 利用者からのニーズを把握するとともに、ニーズを満たすためのサービスの充実に努めます。
- ③ 地域福祉向上のために、地域及び地域資源と連携・共働を図り、地域に開かれた施設づくりを推進します。

### ●運営方針

- ① 利用者・職員の相互信頼関係を保ち、利用者の社会的自立・活動への参加を促す。
- ② 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ってサービスを提供する。
- ③ 地域や家族との結びつきを重視し、市町村や他の障害者支援施設、地域の保健・医療・福祉サービスとの密接な連携に努める。

### 1 生活支援

- ① 今年度は大幅な日課変更を行った。今までの日課の『買い物外出(2回)』と『リネン交換(週1回)』を廃止し、パート職員を活用し日課とは別枠での実施とした。新たにコミュニケーションを主とした『コミュニケーション・ケア(主に、寝たきり者対象)』と『素敵な水曜日 活動/交流の日(主に、自主参加者対象)』を創設し、利用者及び職員の精神面の充足を図った。利用者の自主的な活動によって与えるポイント制度については、課題も多く導入に至らなかった。また、SNS/Instagram(インスタグラム)での情報発信を始め、施設の情報発信と自分達のサービス、支援やケアの振り返りとなっている。
- ② 今年度は、ケアの専門4部会と各通りの4班を紐づけし、副主任とケアリーダーの互いの成長が図られるよう工夫した。各部会の班内での見える化での業務のブラッシュアップ、副主任の部会を含めた取りまとめ、ケアリーダーとの調整、リーダーシップの発揮を期待した。また、各会議で小研修を取り入れリーダーシップの発揮、専門性や介護倫理の向上を図った。
- ③ 課員との面談を導入した。主任と副主任間だけでなく、副主任と班の職員間の面談を2か月に1回実施している。コミュニケーションをとり、不満の聴き出し、目標設定や評価等を行った。コミュニケーションや不満の聴き出しが主になっており、スーパービジョンの不十分さが課題である。
- ④ 補助金を活用しての機械化の導入には至らなかった。今導入している機器についての業務改善は実施している。

## 2 看護

### ① 定期健康診断の実施（年2回）

- ・（1回目）令和3年7月21日 予防医学協会  
（2回目）令和4年2月14日～19日 嘱託医のおおさわ内科にて実施した。
- ・事前に具体的な計画を立て職員に周知し協力を得てスムーズに実施する事が出来た。

### ② 日常の健康チェック

- ・血圧の薬を内服している利用者は毎朝血圧測定を行い血圧手帳に記入した。通院時に主治医に報告を行った。
- ・利用者全員の血圧測定・体重測定・脈拍・体温測定を毎月実施し利用者の健康チェックを行った。
- ・栄養管理を注入食で行っている利用者や体調不良の訴えが出来ない利用者は入浴前に体温・血圧・脈拍・酸素飽和度を測定し体調不良がないか確認し体調変化の早期発見に努めた。

### ③ 集団感染予防（インフルエンザ・ノロウイルス・新型コロナウイルス）

- ・インフルエンザ予防接種を令和3年11月10日に利用者を実施した。
- ・新型コロナウイルスワクチン予防接種を実施した。

65歳以上の高齢者20名を10名ずつ2班に分け、ひばり療護園食堂にて

1回目は令和3年5月13日と令和3年5月14日

2回目は令和3年6月3日と令和3年6月4日に実施した。

残りの利用者32名は、久慈市体育館の集団接種にて、

1回目は令和3年7月3日、2回目は令和3年7月24日に実施した。

入院等により、接種出来なかった4名は後日、医療機関で予防接種を行った。

3回目は希望者46名をひばり療護園食堂にて2班に分けて、

令和4年2月22日と令和4年2月24日に実施した。

- ・年間を通し、手洗い・手指消毒・うがいなど周囲の状況に応じて促した。ノロウイルス感染対策として、汚物処理キットの見直しと準備、点検をした。職員・利用者の個人衛生・感染予防のために廊下のアルコール手指消毒の補充や、交差感染予防のためノータッチ式手指消毒剤の補充、ノータッチ式手洗い石鹸の補充をした。
- ・令和3年10月21日、28日、11月18日、30日の計4回、直接処遇職員対象にウイルス感染予防のため、ガウンテクニックの手順方法についてビデオ研修を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症のマニュアル作成と感染予防に必要な備品を準備した。

### ④ 担当の棟の看護師が、健康相談や個別指導を行う。おやつ相談・体重管理、利用

者と良い関係になるように働きかける。

- ・棟の担当看護師が、利用者の担当支援員と情報交換を行いながら、個別的指導や健康維持に努めた。
- ・翌月の棟会議予定日を確認し、会議に参加できるよう調整した。予約外通院や体調不良者の発生により参加出来ないことは度々あったが概ね参加できた。

#### ⑤ 専門性・技術の向上

- ・内部研修は全員が参加した。
- ・外部研修への参加は出来なかった。来年度は外部研修への参加を呼びかけ、知識・技術の向上を図る。

#### ⑥ 訪問診療の充実

- ・うじょう歯科による歯科診療、おおさわ囁託医による回診、処置等速やかに実施できるように医師との連携を図った。往診前日には利用者全員に声掛けを行い、スムーズに対応することが出来た。
- ・新型コロナウイルス感染症の関係上、必要に応じ電話診療での対応を行った。

### 3 機能訓練

- ① 感染予防対策を実施しながらリハビリ業務を実施することができた。県内、久慈広域の感染状況に左右されず一貫した対策を行った。より衛生環境を確保するためリハビリ実施時間を5分短縮し清掃活動にあてた。衛生面の改善については利用者からも好評なため今後も実施する。各利用者に必要な情報を研修や業務内に伝え共有することができた。
- ② 今年度はデイルームに本棚、リネン保管の棚など大きなものを作製した。木材もテラスの廃材を有効活用した。作業も作業工程を提案する方、負担の大きい作業を難なくこなす方と作業環境に応じて個性が見られている。
- ③ 卓球バレーの感染予防対策として常時換気、手指消毒、マスク装着、用具の清掃を頻繁に行い衛生環境維持に努めた。個々の技術面では差が見られている。曜日によって審判を変えて行っているが、審判によってプレースタイルを変えて行う方も多く、充実度が高い様子は見て取れる。
- ④ 年2回の補装具巡回相談に同行し車椅子、装具の作製時の説明・サポートに携わった。また相談会参加中も感染対策を最優先に行動し、感染予防に努めた。車椅子・装具業者は新型コロナウイルスの感染状況を考慮しての修理依頼とした。休みの間は作業療法士が点検し簡易的な応急処置も実施。業者には随時連絡し修理部品の申請は迅速に対応できた。

#### 4 給食

- ① 利用者の希望や体調、体重の増減などの身体状況に応じた主食形態や主食量の変更を行った。食事時のむせ込みが多い方へのとろみの量の調整や、咀嚼機能の変化に応じて食事形態の見直しを行った。
- ② 今年度の外部研修会への参加については、栄養士の東北ブロック専門研修のリモートでの参加のみとなったが、他施設との交流の機会となりコロナ禍での食事提供方法等の情報を得ることが出来た。調理員に関しては各自毎月の委員会参加の機会に他職種と連携の場を作り、知識の向上に取り組むことが出来た。
- ③ 季節を感じられるような旬の食材については、行事食等で旬の山菜や野菜、果物等を取り入れた。春は季節の山菜などを入れた手作り弁当でのお花見会、夏場はそうめんなどの冷やし麺のメニュー、夏は焼肉、秋は希望者へテラスでさつま芋やパンを焼いて食べるイベントを企画した。冬は鍋の日を1回実施した。今年度もコロナの影響で外出行事が制限されたため施設でバーベキューを3回に分けて少人数で開催し屋外で肉や海鮮を焼いて食べる機会を利用者に提供出来た。
- ④ 嗜好調査で出されたメニューを多く取り入れるよう努めた。また、新年会が中止となり代表の利用者から話し合いの際に挙げられたメニューを選択メニューにして提供し食事を楽しんで頂いた。
- ⑤ 利用者に普段とは違う形態で食事を楽しんでいただくために、レストランの日3回、鍋の日を1回、寿司の日2回、焼肉の日を1回実施した。
- ⑥ 利用者の誕生日メニューとして、希望するメニューを1人1品提供した。

#### 5 地域支援

- ① 昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響により規模を縮小し夏祭りを実施した。来年度も今年度と同様に規模を縮小して実施予定である。
- ② ひばり保育園児との交流（月1回程度）は実施することができたが、ボランティア団体の慰問の受け入れは引き続きお断りをした。来年度も状況を見ながら対応していきたい。
- ③ 安心サポート事業で相談を受けた3名の生活困窮者に対して支援を行った。引き続き他の社会福祉法人とも連携して、地域の生活困窮者支援に取り組んでいきたい。

#### 6 職員の資質向上及び実習生受け入れ

- ① 昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響により、数多くの集合研修が中止となった。しかしリモートを活用し行われた研修には参加できたので、引き続き活用していきたい。
- ② 今年度も医療的ケア研修へ2名派遣したことで常勤の生活支援員の80%以上が取得している。来年度も計画的に派遣し、生活支援員全員が取得できるように取り

組んでいきたい。

- ③ 新型コロナウイルスの影響により久慈東高校は前期のみの実習受け入れとなった。来年度も福祉分野の人材育成のため積極的に受け入れていきたい。
- ④ 久慈広域の社会福祉法人と連携しての研修会は昨年に引き続き実施できなかった。来年度も実施に向け模索していきたい。

#### 7 日常安全対策及び非常対策

- ① リスクマネジメント委員会が中心となり、事故防止の対策と毎月のチェック評価を行った。引き続き危険と思われることは早急に対策を立て、安全にサービス提供できるようにしていきたい。
- ② 防災計画に沿って、年2回の避難訓練を実施した。来年度も実際の災害の際にも避難訓練の手順に沿って安全に避難誘導できるように引き続き訓練していきたい。
- ③ 今年度は全職員を対象とした普通救命講習を予定していたが、コロナウィルスの影響により中止となった。来年度は受講できるように調整していきたい。

#### 8 その他

- ① 広報「ひばり」を年3回（5月、9月、1月）発行することができた。来年度も計画的に年3回発行できるように努めていきたい。また、インスタグラムも新たに開始したので、より多くの方々に知っていただくよう発信していきたい。
- ② 利用者との対話会を計5回開催した。来年度も引き続き開催し利用者の要望を取り入れていきたい。
- ③ 新型コロナウイルスの影響により、県内の障害者支援施設間（旧療護施設8カ所による）の派遣研修の実施は見送った。来年度も難しそうな状況のため、再来年度派遣できるよう調整していきたい。
- ④ 新型コロナウイルスの影響により、昨年に引き続き外出や面会の制限を実施した。来年度も感染状況等を踏まえ、利用者のストレス軽減につながるよう制限を調整していきたい。

#### 9 利用者の状況

##### ① 男女年齢別利用者状況

令和4年3月31日現在

	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	計
男	3	6	7	13	5	34
女	1	0	9	8	2	20
計	4	6	16	21	7	54

最低年齢26歳 最高年齢82歳(平均年齢58.9歳)

② 入退所状況（令和3年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所	1	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	2	7
退所	1	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	7

③ 退所理由

	自宅療養	在宅復帰	入院治療	死亡	他施設異動	計
男	0	0	0	5	0	5
女	0	0	0	2	0	2
計	0	0	0	7	0	7

④ 障害の状況

障害名	男	女	計
脳血管障害	13	4	17
脳性麻痺	8	7	15
脊椎損傷	6	0	6
筋ジストロフィー	2	2	4
頭部外傷	2	1	3
その他	3	6	9
計	34	20	54

⑤ 障害支援区分

	区分6	区分5	区分4	区分3	計
男	16	5	9	4	34
女	9	7	4	0	20
計	25	12	13	4	54

⑥ 出身市町村別利用者数

市町村名	人数	市町村名	人数	市町村名	人数
久慈市	23	田野畑村	2	九戸村	1
洋野町	13	葛巻町	2		
野田村	3	一戸町	2		
普代村	2	岩泉町	2		
一関市	2	軽米町	2	計	54

⑦身体障害者手帳等級状況

	視覚障害		肢体不自由		計
	男	女	男	女	
1級	0	1	23	11	35
2級	0	0	6	7	13
3級	0	0	3	0	3
4級	0	0	2	0	2
計	0	1	35	18	53

身障手帳未所持1名

⑧排泄状況

	全介助	一部介助	自立	計
男	20	3	11	34
女	11	5	4	20
計	31	8	15	54

⑨移動状況

	介助用車椅子	電動車椅子	自走車椅子	自立歩行	計
男	8	8	16	2	34
女	9	0	10	1	20
計	17	8	26	3	54

⑩入浴状況

	特殊浴	普通浴			計
		全介助	一部介助	自立	
男	11	7	16	0	34
女	7	5	8	0	20
計	18	12	24	0	54

⑪食事介助状況

	全介助	一部介助	経管栄養	自立	計
男	6	5	4	19	34
女	5	2	3	10	20
計	11	7	7	29	54

⑫食事形態状況（主食）

ごはん（28名中）	人数	おかゆ（7名中）	人数	軟飯（14名中）	人数
特小盛	5名	特小盛	2名	特小盛	4名
小盛	11名	小盛	2名	小盛	5名
普通盛	10名	普通盛	3名	普通盛	4名
大盛	2名	大盛	0名	大盛	1名

（副食）

内 容	人数	内 容（特別食）	人数
普通形態食	31名	経管栄養食	5名
一口大カット	6名	カロリー制限	12名
ソフト食	5名	塩分制限	3名
きざみ食	2名	透析食	1名
粗刻みとろみ付	1名		
ペースト食	4名		

⑬行事食状況

家族との会食	3回	焼肉の日、夏祭り、クリスマス会
行事食	15回	花見会、端午の節句、七夕、土用の丑、お盆、お月見、お彼岸、冬至、クリスマス忘年会、大晦日、元旦、七草がゆ、もちつき会、節分、ひな祭り
焼き肉の日	1回	6月
レストランの日	3回	6月、10月、2月
鍋の日	1回	11月
寿司の日	2回	5月、11月
誕生日お祝いメニュー	各1回	本人から希望を聞き取りし、誕生日当日の食事として提供した。



## 令和3年度ひばりショートステイ事業実施報告書

### 1 目的

在宅の障害者（主は身体障害者）を介護する家族が社会的理由（冠婚葬祭、入院等）または私的理由（休息、旅行、余暇等）により世話を出来ない場合に家族に代わって一時的に預かり介護を行い、地域生活の維持を支援することを目的とする。

### 2 利用定員

計4名（併設型1名、空床型3名）

### 3 利用地域

県内全域

（久慈広域につき送迎を実施）

### 4 利用実績

利用実人数・・・9名

利用延べ人数・・・209名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
16	19	12	17	11	17	18	17	12	24	24	22	209

- ① 実人員9名中8名がデイサービス利用者であり、慣れた環境のもと安心してショートステイへ繋ぐことができた。今後も療護園の機能を活かし包括的にサービス提供できるよう努めていきたい。
- ② 今年度も新型コロナウイルスの影響により受け入れを控えたため、利用者数は減少となった。来年度も新型コロナウイルスの状況を踏まえ、利用したい方にできるだけ利用できるように調整していきたい。

# 令和3年度ひばりデイサービスセンター事業実施報告書

## 1 生活相談

- ① 車椅子調整の相談や自宅で安全に生活できるよう家庭内の環境整備について関係機関と連携に努め、家族も安全・安心して介護が出来るよう支援した。
- ② レスパイトケア(家族の介護負担軽減)や、本人の健康管理を目的としたショートステイの利用など、関係機関と調整を図った。
- ③ ご自宅での介助についての質問が不定期にご家族より聞かれ、その都度助言等行った。

## 2 創作活動

- ① 毎月、季節を感じられる作品作りを行い、デイルームに掲示した。利用者一人一人ができる範囲で作成に参加し、完成後は写真撮影している利用者もいた。
- ② 障害者アート活動でコラージュ体験を行った。盛岡市の障害者施設の方を講師として招き、自由に絵をかいたり紙を貼ったりした。それを施設内に展示したり、アンバーホールに展示した。
- ③ クリスマスの創作活動として、クリスマスにちなんだステンドグラスづくりを行った。ツリーやベル、プレゼントボックスにそれぞれが好きな色を塗り、クリスマスまでの間、玄関ホールに作品を飾った。
- ④ 節分に向け、鬼のイラストに塗り絵をしてもらった。それぞれが思い描く鬼のカラーをクレヨンや色鉛筆で塗って頂き、節分の豆まきの時にそのイラストを目がけ豆まきを行った。

## 3 スポーツ・レクリエーション活動

- ① 意欲的に卓球バレーの活動に参加される利用者が多く、卓球バレーがデイサービスを利用する目的となっている方もいる。外部の大会は新型コロナウイルス影響で中止になったり、参加を見合わせるなどして不出場だった。施設内に置いては、感染対策を講じつつ、入所利用者の方と合同で行った。
- ② 余暇はそれぞれ自由な時間を過ごす方も多いが、その中でもウノや将棋、オセロで対戦するなど、利用者間での交流も図られていた。また、入所利用者の方と対戦する様子もあり交流も図られていた。
- ③ カラオケを楽しみにしている利用者もおり、利用者同士仲良く歌っていた。選曲した番号の入力ができない利用者によって他利用者が手伝ってくれるなど、お互いに助け合いながら楽しんだ。
- ④ ボッチャ、ボーリング等の日中活動は、当日利用者の半数以上が参加されていた。実施回数を重ねるごとに上達していき、それぞれが工夫し、新たな技術を磨くなど楽しまれた。

- ⑤ デイサービス用のスマートフォンやタブレットで、動画やオセロゲームを楽しむ方もいた。コロナ禍ということもあり、非接触型の活動も行った。また、映画の配信サービスを利用し、時間が空いた時には映画鑑賞を行った。

#### 4 機能訓練

- ① 作業療法士指導のもと、起立台、自転車こぎ、歩行訓練、温熱療法、低周波治療を行った。
- ② 木製ペグで手指の訓練、視覚の訓練を意欲的に実施した。

#### 5 健康チェック

- ① 来所時、入浴前にバイタル測定を行い、その数値によっては安全に入浴していただく事を考慮して入浴を控え、シャワー浴で対応させていただくこともあった。
- ② 今年度も新型コロナウイルス対策として、送迎前の検温・手指消毒、施設到着時の車椅子・送迎車の消毒、利用中・後のデイルーム内の消毒作業を行い感染症対策に努めた。また、感染拡大地域の往来自粛や、その地域の方との接触を控えていただくようお知らせし、接触があった場合は該当日から2週間お休みしていただいた。

久慈広域で感染者が確認された時には、利用回数の多い方の利用を制限し、一日の利用人数を減らすことで密な状況を避けた。また、その期間は入所利用者の方との接触は禁止とし、動線を分けるなど入所利用者の方が感染しないよう努めた。

デイルーム内に空気清浄機やアクリル板、二酸化炭素濃度計を設置し、それも感染症対策とした。

- ③ 毎月体重測定を行い、増減を本人に伝え体調変化に留意して頂いた。

#### 6 社会適応訓練

- ① 外出する機会が無い方、また障害を受傷以降、以前のように外出できなくなった方々にとっては改めて社会と関わる貴重な機会となった。

#### 7 入浴サービス

- ① 自宅で入浴困難な利用者の清潔保持の支援をすると共に家族の負担軽減に繋がる支援を行った。
- ② 特殊入浴機器を使用し、体幹保持が難しい利用者にも快適に入浴していただけるよう支援した。
- ③ 利用者の残存機能を活用し、洗体、着脱の支援をした。
- ④ シャワーキャリー上で座位が不安定な方に対して、専用クッションを使用し、安全且つ快適に入浴して頂いた。

- ⑤ 浴室用天井リフトを活用し、利用者・職員相互の負担軽減に努めた。

## 8 給食サービス

- ① 利用者の嗜好に沿った食事を適温で提供できるように心がけた。機能低下の見られる方、嚥下や咀嚼障害のある方についても栄養士と相談し刻み食やとろみをつけて随時様子を見ながら対応した。
- ② 新メニューを提供し、利用者に満足して頂けるよう努めた。
- ③ 誕生日メニューとして、利用日当日や前後の昼食で、利用者から希望のメニューを提供した。リクエストの中には、食べた事が無いから食べてみたいとの希望もあり、希望が叶ってうれしかった、との感想も聞かれた。また、厨房スタッフと記念撮影し皆さん笑顔が見られた。

## 9 送迎サービス

- ① 自宅とひばりデイサービス間では交通事故なく安全に送迎できた。令和3年度に発生したリフト操作時の事故は、再発防止を職員間で共有し実践していることもあり見られていない。

## 10 行事

- ① ひばり療護園行事(花見会、焼肉の日、クリスマス忘年会)は毎年、利用者・家族共に楽しみにしていただいている。しかし、今年度も新型コロナウイルスの感染拡大により、花見会の行事は中止となり、代替えとして、デイサービス単独で新緑会の行事を行った。入所利用者の方との交流はないため盛り上がるか心配されたが、参加総数が少なかったことでデイサービス職員と会話する機会も多かったことにより利用者の方々の満足度は高かった。一部利用者からは、今後もデイサービス単独での行事開催の希望が聞かれた。焼き肉の日、夏祭り、クリスマス忘年会は参加人数を制限しながら入所と合同で実施することが出来た。行事食を楽しみにされている方も多く、食事に関しても満足度は高かった。
- ② 当初、2回の外出行事を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で10月の一回のみの実施となった。今年度は、田野畑・岩泉の道の駅を紅葉同ライブしながらの外出とした。参加人数が多かったため、2回に分け実施し、どちらも昼食や買い物を楽しまれていた。コロナ禍で外出する機会が少なくなっている利用者の方が多く、外出を楽しまれている様子だった。
- ③ 今年度は、花見会が中止となったため初めて「お花見」の行事を実施した。桜餅とお茶を提供し、施設の屋上から桜の木を眺め見下ろす形とし実施した。屋上に行く機会が少ないため、屋上の景色を眺める方、お菓子を堪能される方とそれぞれが楽しまれていた。

## 実績

行事名	場所	参加人数
お花見	ひばり療護園内	25名
新緑会	ひばり療護園内	14名
焼き肉の日	ひばり療護園内	14名
夏祭り	ひばり療護園内	12名
道の駅日帰り旅行	田野畑村、岩泉町	13名
クリスマス配食	各ご自宅	14名

## 11 利用者状況

### ① 市町村別

市町村別	男	女	計
久慈市	12	8	20
洋野町	2	2	4
野田村	3	2	5
普代村	0	1	1
計	17	13	30

### ② 年齢別

	20未満	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳~49歳	50歳~59歳	60歳以上	計	平均年齢
男	0	1	3	1	3	9	17	53.8歳
女	0	3	1	4	1	4	13	46.7歳
計	0	4	4	5	4	12	30	50.3歳

### ③ 障害区分別(久慈市、洋野町、野田村、普代村)

#### 生活介護

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男	0	3	7	0	0	3	13
女	0	1	1	0	3	5	10
計	0	4	8	0	3	8	23

※一名申請中

地域活動支援センター

	区分1	区分2	区分3	計
男	0	1	2	3
女	0	2	1	3
計	0	3	3	6

④ 月間別利用状況

	稼働日	予定利用者数	利用者数	入浴	食事	送迎	平均利用者数
4月	24	253	220	194	217	423	9.2
5月	23	249	209	173	204	397	9.1
6月	24	266	233	193	227	452	9.7
7月	24	259	224	194	220	425	9.3
8月	24	255	228	209	226	433	9.5
9月	24	268	207	177	200	390	8.6
10月	23	257	210	171	206	404	9.1
11月	24	257	217	182	211	410	9.0
12月	23	258	227	186	222	425	9.9
1月	22	237	220	192	215	415	10.0
2月	22	240	191	173	185	358	8.7
3月	23	252	189	166	183	359	8.2
計	280	3,051	2,575	2,210	2,516	4,891	9.2

⑤ 障害の状況

障害名	男	女	計
脳血管障害	11	3	15
脳腫瘍	1	1	2
脳性麻痺	3	5	8
筋ジストロフィー	0	1	1
その他	2	2	4
計	17	12	30

令和3年度

ひばり障害者支援センター（相談支援機能強化事業）事業報告書

1 相談実績等  
別添資料参照

2 重点方針

(1)ニーズの掘り起こし

障害当事者及びその家族等からの相談のほか、市町村福祉・保健担当課、医療機関等からの対応依頼、他相談支援事業所との連携などを通して、ニーズの発見・掘り起こしに努めた。相談等に対して、必要に応じ家庭訪問を実施し、生活全体の状況を把握することにより、総合的な支援を行えるよう努めた。また障害福祉制度ではなく介護保険制度の対象者も含まれており、介護保険制度の利用に繋げる等の対応を行った。

(2)相談機能の充実・強化

相談等に対応するための手法として、障害者ケアマネジメントを活用することが効果的と考える。障害者ケアマネジメントの手法を意識し、ストレングスの視点を持つことを心がけた。このことは、総合相談窓口の機能の強化となるほか、相談支援における重要かつ基本となると考え実践に努めた。

(3)久慈地域のネットワーク機能（連携・協働機能）の充実・強化

久慈地域自立支援協議会、他相談支援事業所、市町村、県（振興局含む）、社会福祉協議会、特別支援学校、医療機関等との日頃からの情報交換・共有、協議・検討等を通してネットワーク機能の充実・強化に努めた。

(4)障害者総合支援法への対応

同法及同法関連法等の情報収集に努め、必要に応じ利用者等への周知等に努めた。

3 事業の内容

(1)相談窓口機能

総合的な相談窓口として広く周知・開放に努め、相談窓口としての機能の充実に努めた。他相談支援事業所や市町村担当課等の窓口と連携することにより相談支援につながり、結果、相談窓口を広く周知・開放することにもつながったと考える。

(2)福祉サービスの利用の援助

障害者総合支援法におけるサービス（介護給付・市町村生活支援事業）の利用のための援助が中心となり、利用者本人の意向を確認し、本人の希望の実現のために関係機関等と連携・調整にできる限り努めた。

(3)社会資源を活用するための支援

希望に沿う社会資源が不足しているなどの課題もあり、既存の社会資源の検証も含

め、障害者自立支援協議会を中心としてどう構築していくか、現場サイドからの声を反映させたいと考える。

#### (4)権利擁護のために必要な援助

日常生活自立支援事業利用者に対する助言や、生活困窮者自立支援事業のあんしんサポート相談員として（施設の長の判断）経済的援助を行った。今年度は県や久慈地域で事例発表する機会があり、法人としての活動の振り返りと、他地域や事業所での取り組みについても情報交換を図ることができた。

久慈地域成年後見ネットワーク会議に定期的に参加し、成年後見制度の地域の現状や課題についての習得に努めた。

成年後見制度の利用について実際の支援には至らなかったが、今後の利用を考えている方や、利用が必要となってくる方もいるため、関連機関の協力を得ながら情報提供し、利用に向けた支援を行う。

#### (5)計画相談支援(令和3年度実績、障害児含み)

ア、サービス等利用計画の作成（サービス利用支援）

請求件数 50件(昨年度は43件)

イ、モニタリング報告書の作成（継続サービス利用支援）

請求件数 260件(更新に関わる作成件数57件、請求件数203件)

※昨年度は、更新に関わる作成件数45件、請求件数146件 合計191件)

令和3年度は11件の新規計画相談支援を行った。今年度は担当ケースの中で施設入所を利用している方が4名ご逝去され、さらに6名の新規利用者が施設入所された。サービス等利用計画とモニタリング件数の昨年度比較からの増加については、担当ケースでサービス利用内容の変更に伴い、予定されている期間以外にモニタリングを行い、サービス等利用計画を新たに作成することが増えたのも一因である。

#### (6)困難ケースへの対応

2件の困難事例があり、その他でも今年度は例年とはまた違った形での支援検討が必要なケースが増加した。本人や家族中心の支援検討だけでなく、障害を有する他者への迷惑となるケースもあったが、他事業所と関わっているケースも多く、情報共有を図りながら対応することが多かった。

#### (7)相談支援事業者等への指導・助言

日頃からの情報共有・協働を通して支援技術等の向上に努めた。新型コロナウイルス感染防止のため、各種研修に参加する機会は少なかったが、いくつかのweb研修を通して自己研鑽し、当該事業所や相談があった場合の支援技術向上に努めた。

#### (8)地域啓発活動

日頃の相談支援の活動等を通して啓発を行うよう努めた。



#### 4 今後の課題・展望等

例年よりも困難事例に対応することが多かったが、行政や他事業所などと相談、支援検討を行い、協働で支援に当たることも増えた。今後も利用者のニーズが多様化する中で同様の機会が増加すると思われるため、福祉サービスや地域の社会資源をより知っていく必要がある。

福祉サービスでは、障害福祉サービスの居宅介護を対応する事業所が減少してきている。以前からヘルパー不足ではあったが、事業所として、介護保険サービスは対応するが障害福祉サービスからは撤退する事業所もあった。自立支援協議会でもヘルパー不足は情報として取り上げられているが、早急な改善にはならないと思われる。そのため、現在対応している事業所から協力を今後も得られるよう、より丁寧に利用者と事業所の橋渡しをしていく必要がある。

児童計画相談について、今までは本人や家族、事業所とのやり取りが中心だったが、今年度は学校への訪問の機会もあった。今まで学校とのやり取りが無かったため、当初は学校側からも「なぜ障害者支援センターが？」という雰囲気も感じられていたが、何度かのやり取りを通して相談支援専門員が少しずつ認知されたと思われる。そのため、今までの本人や家族、事業所からの情報以外にも児童が多くの時間を過ごす学校からの情報も得られるようになり、事業所と学校間での情報共有にも微弱ながら貢献できた。まだまだ担当ケース全ての学校と繋がっているわけではないので、他学校とも情報共有を図っていく機会を設けたい。そうすることで児童支援の専門性も必要となるため、より一層の自己研鑽が必要と考える。

また、法人の地域貢献の一環として福祉教育出前講座にも参加し、令和3年度は侍浜小学校でキャップハンディ体験や高齢者疑似体験の学習に参加した。新型コロナウイルスが感染拡大する以前は複数校へ参加していたが、学校の参加希望などの事情により今後も参加機会は多くはないと思われるが、福祉に体験できる貴重な機会として、依頼があった際には対応していく。

新型コロナウイルスについては、まだまだ収束も見込めない状況であり、相談支援事業所の役割としては、利用者、行政、関連機関との情報共有が大きな役割と考える。そのため、感染状況の共有や利用者へ必要な情報提供を今後も行っていく。

(相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人員 (1)	身体障害 (2)	重症心身 障害 (3)	知的障害 (4)	精神障害 (5)	発達障害 (6)	高次脳 機能障害 (7)	その他 (8)
障害者	118	101	5	4	16	1	2	0
障害児	13	1	0	3	1	9	0	0
計	131	102	5	7	17	10	2	0

(支援方法)

	訪問 (1)	来所相談 (2)	同行 (3)	電話相談 (4)	電子 メール (5)	個別支援 会 議 (6)	関係機関 (7)	その他 (8)	計 (9)
件数	147	66	29	207	6	4	651	162	1,272

(支援内容)

	福祉サービス の利用等に関 する支援 (1)	障害や病状の 理解に関する 支援 (2)	健康・医療に 関する支援 (3)	不安の解消・ 情緒安定に関 する支援 (4)	保育・教育に 関する支援 (5)	家族関係・人 間関係に関す る支援 (6)	家計・経済に 関する支援 (7)	生活技術に 関する支援 (8)	就労に関する 支援 (9)
件数	913	57	118	19	0	15	57	71	1
(再掲) ピアカウンセ ラー									

	社会参加・余 暇活動に関す る支援 (10)	権利擁護に 関する支援 (11)	そ の 他 (12)	計 (13)
件数	4	0	17	1,272
(再掲) ピアカウンセ ラー				

(その他)

	巡回相談 出席 (1)	関係機関 会議出席 (2)	研修会等 出席 (3)	ケア会議 (Ⅰ) (4)	ケア会議 (Ⅱ) (5)	専門機関 への紹介 (6)	計 (7)
件数	1	11	6	0	6	0	24

(機能強化事業)

	困難ケース等 への対応 (1)	相談支援事業者等 に対する指導・助言等 (2)	計 (3)
件数	2	0	2

※相談支援を利用している障害者等の人数は、(1)≦各表側の(2)+(3)+(4)+(5)+(6)+(7)+(8)  
 ※関係機関、関係者には他の相談支援専門員を含む。  
 ※ケア会議の(Ⅰ)は当該相談に伴うケア会議、(Ⅱ)はその他のケア会議とする。  
 ※久慈圏域分については、当事者の居住地により市町村別に作成し、圏域以外については、1枚にまとめる。

(相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人員 (1)	身体障害 (2)	重症心身障 害 (3)	知的障害 (4)	精神障害 (5)	発達障害 (6)	高次脳 機能障害 (7)	その他 (8)
障害者	88	75	5	1	11	1	2	0
障害児	12	1	0	3	0	8	0	0
計	100	76	5	4	11	9	2	0

(支援方法)

	訪 問 (1)	来所相談 (2)	同 行 (3)	電話相談 (4)	電 子 メール (5)	個別支援 会 議 (6)	関係機関 (7)	その他 (8)	計 (9)
件 数	129	62	25	176	6	4	556	111	1069

	福祉サー ビスの利用等 に関する支 援 (1)	障害や病状 の理解に関 する支 援 (2)	健康・医療に 関する支 援 (3)	不 安 の 解 消・情 緒 安定に関す る支 援 (4)	保 育・教 育 に 関 する 支 援 (5)	家 族 関 係・ 人 間 関 係 に 関 する 支 援 (6)	家 計・経 済 に 関 する 支 援 (7)	生 活 技 術 に 関 する 支 援 (8)	就 労 に 関 する 支 援 (9)
件数	760	54	103	12	0	15	43	62	1
(再掲) ピアカウンセ ラー									

	社会参加・ 余暇活動に 関する支 援 (10)	権利擁護に 関する支 援 (11)	そ の 他 (12)	計 (13)
件数	4	0	15	1069
(再掲) ピアカウンセ ラー				0

(その他)

	巡回相談 出席 (1)	関係機関 会議出席 (2)	研修会等 出席 (3)	ケア会議 (Ⅰ) (4)	ケア会議 (Ⅱ) (5)	専門機関 への紹介 (6)	計 (7)
件 数	1	11	6	0	6	0	24

	困難ケース等 への対応 (1)	相談支援事業者等 に (2)	計 (3)
件 数	2	0	2

※相談支援を利用している障害者等の人数は、(1)≦各表側の(2)+(3)+(4)+(5)+(6)+(7)+(8)  
 ※関係機関、関係者には他の相談支援専門員を含む。  
 ※ケア会議の(Ⅰ)は当該相談に伴うケア会議、(Ⅱ)はその他のケア会議とする。  
 ※久慈圏域分については、当事者の居住地により市町村別に作成し、圏域以外については、1枚に  
 まとめる。

(相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人員 (1)	身体障害 (2)	重症心身 障害 (3)	知的障害 (4)	精神障害 (5)	発達障害 (6)	高次脳 機能障害 (7)	その他 (8)
障害者	20	16	0	3	1	0	0	0
障害児	1	0	0	0	0	1	0	0
計	21	16	0	3	1	1	0	0

(支援方法)

	訪 問 (1)	来所相談 (2)	同 行 (3)	電話相談 (4)	電 子 メール (5)	個別支援 会 (6)	関係機関 (7)	その他 (8)	計 (9)
件 数	12	1	3	14	0	0	71	33	134

(支援内容)

	福祉サービ スの利用等 に関する支 援 (1)	障害や病状 の理解に関 する支 援 (2)	健康・医療 に関する支 援 (3)	不安の解 消・情緒に 関する支 援 (4)	保育・教育 に関する支 援 (5)	家族関係・ 人間関係に 関する支 援 (6)	家計・経済 に関する支 援 (7)	生活技術に 関する支 援 (8)	就労に関する支 援 (9)
件数	107	0	11	5	0	0	5	5	0
(再掲) ピアカウン セラー									

	社会参加・ 余暇活動に 関する支 援 (10)	権利擁護に 関する支 援 (11)	そ の 他 (12)	計 (13)
件数	0	0	1	134
(再掲) ピアカウン セラー				0

(その他)

	巡回相談 出席 (1)	関係機関 会議出席 (2)	研修会等 出席 (3)	ケア会 議 (4)	ケア会 議 (5)	専門機関 への紹介 (6)	計 (7)
件 数	1	11	6	0	0	0	18

(機能強化事業)

	困難ケース等へ の対応 (1)	相談支援事業者 等に対する指導・ 助言等 (2)	計 (3)
件 数	0	0	0

※相談支援を利用している障害者等の人数は、(1)≦各表側の(2)+(3)+(4)+(5)+(6)+(7)+(8)

※関係機関、関係者には他の相談支援専門員を含む。

※ケア会議の(Ⅰ)は当該相談に伴うケア会議、(Ⅱ)はその他のケア会議とする。

※久慈圏域分については、当事者の居住地により市町村別別に作成し、圏域以外については、1枚にまとめる。

(相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人員 (1)	身体障害 (2)	重症心身 障害 (3)	知的障害 (4)	精神障害 (5)	発達障害 (6)	高次脳 機能障害 (7)	その他 (8)
障害者	8	8	0	0	2	0	0	0
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0
計	8	8	0	0	2	0	0	0

(支援方法)

	訪問 (1)	来所相談 (2)	同行 (3)	電話相談 (4)	電子 メール (5)	個別支援 会 議 (6)	関係機関 (7)	その他 (8)	計 (9)
件数	6	3	1	17	0	0	20	13	60

(支援内容)

	福祉サービス の利用等に関 する支援 (1)	障害や病状の 理解に関する 支援 (2)	健康・医療に 関する支援 (3)	不安の解消・ 情緒安定に関 する支援 (4)	保育・教育に 関する支援 (5)	家族関係・人 間関係に関す る支援 (6)	家計・経済に 関する支援 (7)	生活技術に 関する支援 (8)	就労に関する 支援 (9)
件数	39	3	4	1	0	0	8	4	0
(再掲) ピアカウンセ ラー									

	社会参加・余 暇活動に関す る支援 (10)	権利擁護に 関する支援 (11)	そ の 他 (12)	計 (13)
件数	0	0	1	60
(再掲) ピアカウンセ ラー				0

(その他)

	巡回相談 出席 (1)	関係機関 会議出席 (2)	研修会等 出席 (3)	ケア会議 (Ⅰ) (4)	ケア会議 (Ⅱ) (5)	専門機関 への紹介 (6)	計 (7)
件数	1	11	6	0	0	0	18

(機能強化事業)

	困難ケース等 への対応 (1)	相談支援事業者等 に対する指導・助言等 (2)	計 (3)
件数	0	0	0

※相談支援を利用している障害者等の人数は、(1)≦各表側の(2)+(3)+(4)+(5)+(6)+(7)+(8)

※関係機関、関係者には他の相談支援専門員を含む。

※ケア会議の(Ⅰ)は当該相談に伴うケア会議、(Ⅱ)はその他のケア会議とする。

※久慈圏域分については、当事者の居住地により市町村別に作成し、圏域以外については、1枚にまとめる。

(相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人員 (1)	身体障害 (2)	重症心身 障害 (3)	知的障害 (4)	精神障害 (5)	発達障害 (6)	高次脳 機能障害 (7)	その他 (8)
障害者	2	2	0	0	2	0	0	0
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	2	0	0	2	0	0	0

(支援方法)

	訪問 (1)	来所相談 (2)	同行 (3)	電話相談 (4)	電子 メール (5)	個別支援 会 議 (6)	関係機関 (7)	その他 (8)	計 (9)
件数	0	0	0	0	0	0	4	5	9

(支援内容)

	福祉サービス の利用等に関 する支援 (1)	障害や病状の 理解に関する 支援 (2)	健康・医療に 関する支援 (3)	不安の解消・ 情緒安定に関 する支援 (4)	保育・教育に 関する支援 (5)	家族関係・人 間関係に関す る支援 (6)	家計・経済に 関する支援 (7)	生活技術に 関する支援 (8)	就労に関する 支援 (9)
件数	7	0	0	1	0	0	1	0	0
(再掲) ピアカウンセ ラー									

	社会参加・余 暇活動に関す る支援 (10)	権利擁護に 関する支援 (11)	そ の 他 (12)	計 (13)
件数	0	0	0	9
(再掲) ピアカウンセ ラー				

(その他)

	巡回相談 出席 (1)	関係機関 会議出席 (2)	研修会等 出席 (3)	ケア会議 (Ⅰ) (4)	ケア会議 (Ⅱ) (5)	専門機関 への紹介 (6)	計 (7)
件数	1	11	6	0	0	0	18

(機能強化事業)

	困難ケース等 への対応 (1)	相談支援事業者等 に対する指導・助言等 (2)	計 (3)
件数	0	0	0

※相談支援を利用している障害者等の人数は、(1)≦各表側の(2)+(3)+(4)+(5)+(6)+(7)+(8)

※関係機関、関係者には他の相談支援専門員を含む。

※ケア会議の(Ⅰ)は当該相談に伴うケア会議、(Ⅱ)はその他のケア会議とする。

※久慈圏域分については、当事者の居住地により市町村別に作成し、圏域以外については、1枚にまとめる。

# 令和3年度ひばり保育園事業実施報告

## 【保育理念】

生き生きとした明るい子どもに育つ願いを込めて

## 【保育目標】

- (1)健康な身体の子ども
- (2)よく考えて行動できる子ども
- (3)豊かな心をもった子ども
- (4)思いやりのある子ども

## 【保育計画】

### 3歳未満児

落ち着いた環境の中で、ひとりひとり、暖かいふれあいを大切にし、生活や遊びを楽しみながら、たくましい生命力、健やかな身体と心を育てて、自立習慣の基礎を養う。

### 3歳以上児

十分の養護の行き届いた環境のもとで、健康安全に必要な習慣や態度を養い、人との関わりの中で、人に対する愛情、信頼感を育てると共に自主・自立・強調の態度を養う。

## 【安全指導】

年間の安全指導目標に添って、月1回安全指導を行う。又日々の保育の中で、必要に応じて安全指導を行う。

## 【避難訓練】

月1回火災、震災、その他不慮の災害予防及びこれらの災害時おける園児、職員の安全を図る。

## 【健康管理】

定期的な健康診断と毎月身長、体重を測定し、成長の実態を把握し家庭との連携を図る。

## 【給食】

月1回の誕生会、年3回の行事食を盛り込み、みんなで楽しく食事をし、食事の大切さを知り、正しい食事習慣とマナーを身につける。

## 【園児の在籍状況】

令和3年度3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ひよこ	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	5	5	42
あひる	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	24
はと	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
うぐいす	7	7	7	7	7	7	7	7	7	8	8	8	87
かなりや	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
ひばり	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
計	56	56	56	57	56	56	56	56	57	58	59	59	682

## 【職員構成】

※( )は非常勤

園長	副園長	主任保育士	副主任保育士	保育士	栄養士	調理師	事務員	保育補助	計
1	1	1	1	13	1	2	2	2	24
	(1)			(5)					(6)

久慈市門前 37-56-26 ちだ医院の千田修医師を嘱託医とする。

久慈市八日町 1-37 宮澤歯科医院の小柳寿美子医師を嘱託医とする。

## 【特別事業】

乳児保育事業  
延長保育事業

民間保育所地域活動事業  
一時保育事業

障害児保育事業